



春江だより

7月号

令和7年6月30日  
江戸川区立春江小学校

## 6月の教育活動を振り返って

校長 小林 麻子

梅雨に入ったとはいえ連日厳しい日差しとともに30度越えが続いています。そのような中、環境省、江戸川区の情報をもとに子供たちの状況を見ながら熱中症予防に取り組んでいるところです。ご家庭では、生活リズムが乱れないよう、また、「早寝・早起き・朝ごはん」で、暑さを乗り越えられるよう、ご協力をお願いします。

さて、開校60周年記念春江小学校運動会が、子供たちの活躍と保護者の皆様のご協力で、無事に終わりましたことを感謝します。子供たちの演技から、一生懸命練習に取り組んできた成果と開校60周年をお祝いする気持ちを感じていただけたのではないのでしょうか。アンケートでも一定の評価をいただき、教職員一同励みとなりました。

今年度は、開校60周年を祝う会様から、テントを前倒して4張購入していただきました。全学年設置しなかった理由として、熱中症予防のため開催中に校内に入り、水分補給と休憩をとることを計画しました。その時間に空いているテントを、高学年が使用するという方法をとりました。これは、本校の校庭の広さが児童数、参観者数に対して十分なものとはいえず、南側にテントを設置することが演技上困難が生じると判断したためです。その他、ミストや霧吹きなども対策を立てました。今後は、より子供たちの安全性を重視し、観覧場所等を検討してテントの増設を進めます。また、アンケートには、徒競走で順位をつけてほしいというご意見がありました。勝ち負けの経験が必要ではないかということでしたが、この件に関しては、子供たちの暑さによる負担から午前中の開催とするため、「徒競走では、順位を付けない」方法としています。順位をつけると今以上の時間が発生し、午前中の開催が難しくなります。勝ち負けの経験については、子供たちの成長に必要なことと考えております。それは体育の授業の中で、主に、ボール運動やゲーム領域等を通して経験をさせております。勝ち負けを経験させ、それまでの過程も大切にしながら互いに高め合う指導を今後も行っていきます。また、リレーの実施方法は、さらに検討を重ねてまいります。

その他にもご意見をいただきましたが、より良い運動会となるよう、今後、検討してまいります。会場準備、当日の受付、対応、片付け作業は教職員だけでは難しく、PTA本部役員の皆様、おやじの会の皆様、一人一役ご担当の皆様にご多大なご協力をいただきました。あらためて感謝申し上げます。また、ご指摘の中に、近隣の駐車場に車両を駐車しているというものもありました。改めまして、近隣の皆様への迷惑にならないよう、ご協力をお願いします。

先月14日と17日に第1回学校公開を実施しました。今回は参観可能人数を増やすとともに、全クラスを自由に参観していただけるようにしました。両日とも多くの保護者の皆様に子供たちの頑張る様子を見ていただきました。1年生にとっては初めての学校公開。少し緊張気味の児童やいつも以上に張り切っている児童などそれぞれ違った表情でしたが、やはりおうちの方に参観していただくのは嬉しいといった様子でした。教員は、子供たちに「分かる授業」をめざし、今後も引き続き努力と工夫をしてまいります。

17日4校時は、「柿の木集会」を実施しました。柿の木プロジェクトの代表の宮島さんらにご来校いただき、全校児童にプロジェクトの取組の紹介、平和の大切さについて映像を見ながらお話いただきました。児童代表の6年生からは、話の内容を受けて、学んだことをもとに創造することを通してできることを考えていくという、頼もしい内容の感想を聞くことができました。昨年度の植樹の時の思いを受け継ぎ、全校児童で取り組んでいきます。